

タイトル『死体が教えてくれたこと』

著者：上野 正彦

出版社：河出書房新社

この本は法医学者として多くの遺体と向き合ってきた著者が、死体から分かることや命の大切さについて書いたノンフィクションです。一見すると怖そうな題名ですが、事件の話だけでなく「命とは何か」「どう生きるか」を考えさせられる内容になっています。

私はこの本を読んで命は当たり前ではなく、一日一日を大切に過ごすことが大事だと感じました。少しでも興味がある人や命について考えてみたい人におすすめです。



投稿日 令和8年 7月 10日

ペンネーム（本名は書かないでね!）

いら

年齢

14歳

仙台市

図書館 YAコーナ